

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	教師用教科書・指導書・副読本購入事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	01	04	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	矢内 智子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校23校	意図	教師用教科書及び指導書等を準備することにより、教科指導の充実を図る。また、音読ながれやま・社会科副読本により、授業の充実を図る
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 教科指導の充実のために教師用教科書および指導書等を準備する。 小・中の1年生に音読ながれやまを、小学3年生、中学1年生には社会科副読本を配布する。 			
事業開始から現在までの状況変化	教師用教科書および指導書等をすべての小・中学校に整備する。24年度には中学校の教科書・指導書を入れ替えたが、25年度は学級増等、サポート教員等への配付等を考慮し整備した。前年度から在庫状況等を調査し、慎重に整備を進めた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 教科書		1,587	1,082	冊	→→	
	② 指導書		813	110	冊	→→	
	③ 副読本		5,850	4,655	冊	→→	
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・日々、児童・生徒の指導にあたる教師やサポート教員、ALT等の教科書及び指導書を準備することにより、指導効果の向上を図っている。 ・小学校、中学校とも社会科副読本を配布し、郷土をよく知る学習に役立っている。 ・副読本「音読ながれやま」を全小中学生に配布し、新学習指導要領の重点である「言語活動の充実」を図っている。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		31,234,381	16,663,574	2,990,833			
事業費(b)(円)		31,234,381	16,663,574	2,990,833			
うち一般財源		31,234,381	16,663,574	2,990,833			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	学級増分の教師用教科書及び教師用指導書を中心に整備することにより、指導の充実を図る。	③取り組みの課題	小、中学校の全面改訂による教師用教科書・指導書の整備は一応できたが、まだ十分ではない。
②今年度(H25)に実施した取り組み	学級増分の教師用教科書及び教師用指導書を中心に整備し、指導の充実を図ることができた。	④今後の改善計画	小・中学校分の教師用教科書・指導書の整備状況をチェックする。また、サポート教員や算数数学指導員にも配布し、更に指導の充実を図る。